

Internship



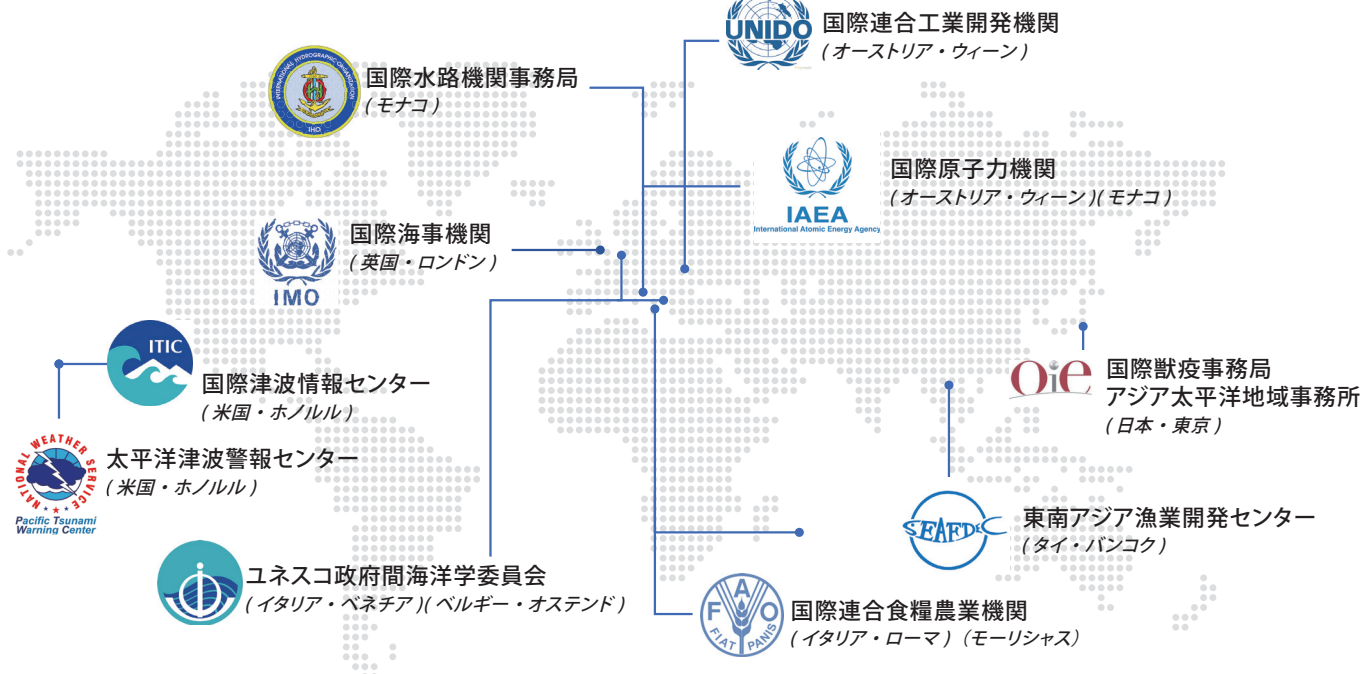
国連機関などに長期派遣 海外インターンシップ

海外インターンシップは、海洋にかかわる国際的な人材の育成を目指し、日本財団の助成で2014年度に始まりました。学内の選考を経て、2~3か月の長期にわたって国連機関などに費用負担なしで派遣されます。2014~2019年度の6年間で14機関に50人を派遣しました。将来のキャリアにつながる人のネットワークを築くことも期待されています。2020~21年度はオンラインで実施しました。

省庁や研究機関などで実習 国内インターンシップ

国内インターンシップの期間は、おおむね2週間~1か月です。気象庁や海上保安庁を含む国土交通省、水産研究・教育機構、環日本海環境協力センターなどに毎年10人前後の学生が派遣されています。各省庁が募集する一般公募のインターンシップについても、事前に届け出たうえで活動の報告書を提出すれば、所定の単位として認められます。

世界に広がる連携機関



修了生の進路(一例)

■令和3年度【官庁】農林水産省、水産庁(総合職技術系)【民間企業等】日本電信電話株式会社(NTT研究所)(研究開発職)、日本郵船株式会社(総合職陸上職事務系)、日本銀行(総合職)、三菱商事株式会社(総合職) ■令和2年度【官庁】気象庁(総合職)、防衛省(事務系総合職)【民間企業等】日本学術振興会 特別研究員(PD)(受入先 海洋研究開発機構)、株式会社野村総合研究所(AE)、株式会社テックスエンジニアリング(システムエンジニア)、株式会社ベネッセコーポレーション(総合職)、三井E&S造船株式会社(研究職)、アクセンチュア(SE)、アーンスト・アンド・ヤング(CCaSS部門)、富士通株式会社(SE職)、アマゾンジャパン合同会社(サプライチェーンスペシャリスト) ■令和元年度【官庁】外務省(事務系総合職2名)、農林水産省(技術系総合職)、農林水産省(水産庁)(技術系総合職)、農林水産省(水産庁)(総合職)、【民間企業等】みずほ情報総研株式会社(コンサルタント職)、国際石油開発帝石(INPEX)(技術系総合職)、株式会社Schoo(総合職)、丸紅株式会社(総合職)【進学・その他】理学系研究科地球惑星科学専攻博士課程進学 ■平成30年度【官庁】外務省(総合職)、国土交通省(総合職)【民間企業等】味の素株式会社、農中情報システム株式会社(SE職)、株式会社野村総合研究所(経営コンサルタント職)、NTTデータニューソン(SE職)、東日本高速道路株式会社(NEXCO東日本)(総合職技術系土木)、東洋建設株式会社(技術系土木職)、株式会社レイヤーズ・コンサルティング(総合職)、株式会社ネットプロテクションズ、独立行政法人国際協力機構、日本電気株式会社【進学・その他】博士後期課程進学 ■平成29年度【官庁】水産庁(総合職技術系)、神奈川県科学捜査研究所(生物化学職)、防衛省(現職復帰)【民間企業等】トヨタ自動車(技術職)、丸紅株式会社、みずほ情報総研株式会社(コンサルタント)、株式会社三菱総合研究所、日本ロレアル株式会社(研究開発職)、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(政策研究事業本部 研究員)、ゴールドマン・サックス、株式会社オークローンマーケティング(NTT DOCOMO グループ 総合職) ■平成28年度【官庁】総務省(総合職事務系)、静岡県庁(行政職)、大阪府(技術職環境系)【民間企業等】東京海上日動火災保険株式会社(総合職・アクチュアリー採用)、鉄道情報システム株式会社(JRシステム・システムエンジニア)、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)(総合職)、日本工営株式会社(総合職)【進学・その他】博士後期課程進学 ■平成27年度【官庁】国土交通省(総合職事務系)、環境省(総合職自然系)、水産庁(水産系技術職)【民間企業等】株式会社クボタ電力株式会社(技術系総合職)、国際石油開発帝石株式会社(グローバルスタッフ技術職)、マイクロメモリアン株式会社(技術職)、株式会社日経BP(編集職)、ジャパンマリンユナイテッド株式会社(技術系)、一般財団法人日本海事協会(技術職)、デロイト・トーマツコンサルティング合同会社(管理部門総合職)【進学・その他】日本学術振興会特別研究員PD、博士後期課程進学2名

自分の人生に具体的な イメージを描けた

海洋学際教育プログラムでのインターンシップは、まさに私の人生を左右する大きな経験でした。修士1年の夏に国土交通省で行った2週間の実習では、二酸化炭素の排出量が少ない「低環境負荷船」を東南アジア諸国に普及させる実務者会合の準備に参加しました。もちろん国交省としての進め方は職員の方が考えているのですが、並行して私にも別の方法を考えてみるよう大きな課題を与えてくださいました。そしてなにより、国交省に対する印象がすっかり変わりました。それまでは「技術系の男の国内的な職場」と思っていたのですが、実際には開放的な雰囲気でも女性も多く、国際海事機関などのグローバルな仕事もたくさんあることがわかりました。それが就職先として国交省を希望する動機になりました。

ウィーンの国連工業開発機関で実習した3か月の海外インターンシップでは、さまざまな国から来た人と話すうちに、私はまず持続的な開発に貢献するための基本的なスキルを身につけ、そのうえで世界の国々の発展に尽くす仕事に取り組むというステップを踏みたいと思うようになりました。自分のキャリアパスについて具体的なイメージをもつことができたのです。国際機関へのインターンシップは、公募だと競争率がとても高いのですが、海洋学際教育プログラムでは特別なルートをつくってくださっています。みなさんも、ぜひ挑戦してみてください。

国土交通省大臣官房会計課
公共政策学教育部専門職学位課程修了
木下真里さん



Syllabus

プログラム実施科目シラバス

■ 理学系研究科 ■ 工学系研究科 ■ 農学部生命科学研究科
■ 新領域創成科学研究科 ■ 公共政策学教育部

■ 必修科目

- 海洋問題演習 I
- 海洋問題演習 II
- 海洋問題演習 III
- 海洋問題演習 IV
- 事例研究
(海洋問題演習Va)
- 事例研究
(海洋問題演習Vb)

■ 選択必修科目

- 海洋法・海洋政策
インターンシップ実習
- 海事政策論
- 沿岸域管理法制度論
- 国際海洋法制度概論
- 海洋科学技術政策論
- 海洋基礎科学
- 海洋生物資源利用論
- 海洋工学基礎

■ 推奨科目

- 海洋底ダイナミクス
- 海洋生物学
- Sediment transport
in hydrosphere
- 複雑流体システム
モデリング
- 海事技術
イノベーション
- 水産資源管理学
- 国際水産開発学総論E
- 国際水産開発学特論E
- 水域保全学
- 水圏生態論
- 海洋環境モデリング
- Science, Technology
and Public Policy
- ※1
国際空間秩序と法
- 交渉と合意

※1 法学政治学研究科でも同じ科目が開講されていますが、公共政策学教育部が開講する科目のみが対象となりますのでご注意ください。

2021年度大学院入学者から修了に必要な単位数が変わりました。
2020年度以前の入学者の方は、下記URLを参照下さい。

詳細はこちらにアクセスしてご確認ください。



海洋学際教育プログラム HP
<https://www.oa.u-tokyo.ac.jp/images/2020maetanni.pdf>

修了に必要な単位数

科目種別	必須修得単位数
必修科目	4
選択必修科目	4
小計	8
選択必修科目または 推奨科目	4
合計	12



Registration

プログラム履修の流れ

参加には「WEB登録」を

海洋学際教育プログラムに参加するにはWebでの申請が必要です。申請は通年で受け付けますが、各セメスターに開講される科目には研究科ごとに登録期限があるので、その点に注意してください。修了に必要な科目と単位数は、7～8ページに掲載しています。広い視野を身につけられるよう、研究分野が文系の学生は理系科目を、理系の学生は文系科目を履修することをお勧めします。大学院正規課程を修了または博士課程を満期退学することが、プログラム修了の条件となります。海外・国内インターンシップの募集は例年では5月から始まりますが事情により異なる場合があります。

Web登録

右記QRコードを読み込んで、登録してください。

<https://www.oa.u-tokyo.ac.jp/ieposp/form.html>



最新情報

海洋学際教育プログラム Web サイト内の学内向け情報にてお知らせしますので、随時チェックしてください。学外からのアクセスにはID・パスワードが必要となりますので、事務局へお問合せください。

<https://www.oa.u-tokyo.ac.jp/lectures/index.html>



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	海洋問題演習Sセメスター					海洋問題演習Aセメスター						
	インターンシップ											
年間スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム修了申請(9月修了予定者) ・プログラム登録開始(通年可) ・海洋学際教育プログラムガイダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回海外インターンシップ募集開始 ・国内インターンシップスロット提示(募集開始) ・履修登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋問題演習Sセメスターレポート説明 ・海外インターンシップ募集締め切り↓選考 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内インターンシップ実習開始 ・海外インターンシップ学内講演会 	<ul style="list-style-type: none"> ・Sセメスター成績 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外インターンシップ国際機関先により随時派遣 ・第2回海外インターンシップ募集締め切り↓選考 ・第2回海外インターンシップ募集開始 ・9月入学向けプログラム登録 ・海洋問題演習Aセメスターチーム分け ・Aセメスター講義開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム修了申請(3月修了予定者) ・海洋問題演習フィールドワーク(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋問題演習中間発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋問題演習Aセメスターレポート説明 ・海洋問題演習最終発表 ↓最優秀、優秀チーム表彰 	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋問題演習 Aセメスターレポート締め切り 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年またはAセメスター科目成績 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム修了式

参加登録から修了までの流れ

1 参加の登録申請

登録は、必修科目「海洋問題演習I～Va」を履修するとともに、Webにて期日までに海洋学再教育プログラムに登録すること。

2 科目履修登録

履修は、所属する研究科等の定める履修手続き及び方法に従い、研究科等の定める期限までに履修登録すること。

3 科目単位認定

単位・成績の評価は、授業科目ごとに行われる。なお、他の研究科の科目を履修した場合の単位認定は、所属する研究科等において定められた取扱いによる。

4 修了証申請

修了証申請時期は、課程修了予定学期の学期始めの定められた期間に申請すること。

5 修了証授与

登録申請後、プログラムが定める所定の科目を履修し、かつ定められた期日までにUTASで部局横断型教育プログラムWeb修了証申請を行った者に、海洋学際教育プログラムの修了証を交付する。

文理を横断して思考力を鍛える

文理を横断した知識のネットワークを構築することができました。現代社会が抱える海洋の諸問題に対し様々な角度からアプローチする海洋問題演習は、自分の知識の限界を超えて知見を広げる貴重な機会でした。ここで鍛えた思考力や得た経験は、社会に出ても役立ちます。国内外のインターンシップも活用しよう。実務を組織の一員として体験できる機会は、そうそうありません。

水産庁 総合職技術系
農学生命科学研究科農学国際専攻修士課程修了

熊本 淳平さん



今でも付き合えるプログラムの仲間

海外インターンシップや海洋問題演習を通じて、自分で見て考えて意見を主張していくことを学びました。また、共に学んだ仲間とは、数年たっても定期的に会う関係を築けています。どんどん自らの興味の幅を広げて現場に出向き、いろいろな人の話を聞き、アイデアや思索を深めていけるだけの環境を用意してくれるプログラムです。全力で取り組むことをオススメします！

丸紅株式会社
新領域創成科学研究科環境システム学専攻修士課程修了

多田羅 孔明さん



社会で役立つ幅広い教養を

海にまつわる諸課題について、異なった専門性を持つ学生と学ぶことができました。愛媛県の離島で共にフィールドワークを行ったことは、大切な思い出です。専門以外の科目を履修することになるため負担は増えますが、身に付けた海洋学全般の広い教養は、社会に出た今、思いがけない時に役に立っています。自分の専門性を磨くだけでなく、ぜひ視野を広げる機会にしてください。

外務省 事務系総合職
公共政策学教育部公共政策学専攻
国際公共政策コース専門職学位課程修了

北原 司さん



海外インターンで自分の「常識」を覆そう

海外インターンシップは、自分の常識を良い意味で覆すことができる貴重な経験です。モナコに拠点を置く国際水路機関(IHO)での2か月のインターンシップでは、世界をリードする専門家たちの膨大な知識量や仕事に対する情熱に刺激を受けました。世界の情勢に合わせて自分の知識をアップデートすることの大切さは、研究者としての今の自分の姿勢にもつながっています。

新領域創成科学研究科 自然環境学専攻 海洋生物圏環境学分野 特任研究員 / 新領域創成科学研究科 自然環境学専攻博士後期課程修了

羽根 由里奈さん

